

# 104-250

## 問題文

前問で提案すべき併用薬物の作用機序として正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 線条体において、アデノシンA<sub>2A</sub> 受容体を遮断する。
2. 線条体において、ドパミンD<sub>2</sub> 受容体を遮断する。
3. 芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素によりノルアドレナリンに変換され、脳内のノルアドレナリンを補充する。
4. 主に末梢において、カテコール-O-メチルトランスフェラーゼ(COMT)を阻害し、レボドパの代謝を抑制する。
5. 線条体において、ムスカリン性アセチルコリン受容体を遮断する。

---

## 解答

問250 : 2, 5 問251 : 1, 4

## 解説

### 問250

問251 とまとめて解説します。

### 問251

朝、昼、夜と1日3回服薬しても L ドパの効果が切れる時間が出てきた場合を、**ウェアリング・オフ現象** といいます。レボドパのより多い回数での投与、ドパミン作動薬、COMT阻害薬、アデノシン受容体拮抗薬などが用いられます。

選択肢 1 ですが

トリヘキシフェニジルは抗コリン薬です。wearing — off に対して用いる薬物としては適切ではないと考えられます。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は妥当な記述です。

イストラデフィリンは、アデノシン受容体拮抗薬です。(103-165)

選択肢 3 ですが

ドロキシドパはノルアドレナリン製剤です。すくみ足改善などに用いられます。

wearing — off に対して用いる薬物としては適切ではないと考えられます。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが

ビペリデンは抗コリン薬です。wearing — off に対して用いる薬物としては適切ではないと考えられます。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は妥当な記述です。

エンタカポンは COMT 阻害薬です。COMT は、ドパミン等の代謝酵素です。代謝酵素を阻害することで、ドパミンの効果を増強します。レボドパ製剤と併用します。

以上より、問250 の正解は 2,5 です。

問251 の正解は 1,4 です。